

## 助成事業実施報告書

団体名 福島子ども支援・八王子

代表者・役職名 氏名 共同代表 近藤波美

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

2017夏休みふくはち親子交流合宿

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

震災直後、八王子の有志で「子どもたちの未来と自然エネルギーを考える八王子市民講座」を開催し、その中で原発事故の被害により厳しい環境で暮らす福島の子供達や健康被害について悩む母親たちの状況を知り、保養活動を始めたいと当団体を設立しました。現在主要メンバー12名で八王子を中心とする地域の様々な活動団体や学生たち、市民が連携しながら活動を続けています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

福島原発事故の影響に対して不安を持ちながら暮らす福島の親子に対し、子供達への自然遊びと保護者のリフレッシュの機会を提供し、またそうした方々に向けて何らかの支援をしたいと思う八王子など多摩地域の市民との交流を図ることを目的に活動してきました。これまで年2回計11回開催してきましたが、震災後7年を経て社会的な関心が薄まり支援も減少する中で、福島県内では被ばくや健康について話す場も少なくなりぜひ継続して欲しいという親たちの声が多く、また、除染が難しい自然環境の中で、小さな子供たちの自然遊びの機会が求められています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

4月～5月に夏合宿企画、実施内容詳細及び募集要項決定。6月 保養相談会に参加し、HPやブログ、SNSなどで参加者を募集。7月 ボランティア募集、食材手配など準備作業を実施。7/31～8/3 福島からバスで町田市立大地沢青少年センターにて3泊4日の合宿を開催しました。子どもたちは自然豊かな大地沢センター内でプレーパークなどの外遊びを中心に、かき氷作りや星空観察などを楽しみ、また参加者のお母さんたちの自主企画による、抹茶体験、アクセサリー作りなどのプログラムを実施。八王子の農家さんから協力頂いた食材などを栄養士調理師のボランティアさんたちで栄養たっぷりの食事を提供しました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

福島からの参加者大人17名子ども31名、八王子他柵地域からのボランティアスタッフは、学生15名を含むのべ60名で実施しました。リピーター参加者が多い中、震災後に出産された方、震災後一時避難し福島に戻られた方など、新しい参加者の方が半数以上に増え、新たなニーズが生まれていることを実感しました。小さな子供が自然に存分に触れることは、健やかな成長に欠かせないことですが、こうして安心してできる場があることに母親たちがとても喜ばれていました。また、福島での生活の不安などをスタッフに話され、こうした繋がりが福島に戻ってからの生活に元気をもらえるとの感想が多かったです。今回、リピーターの参加者のお母さんたちが、自分たちでプログラムを実施して交流を深めてくれるなど、一方的な支援の形ではなく、互いに交流し共に保養活動を支えて行こうという機運が生まれつつあります。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

原発事故による健康被害や放射能への影響についての不安が払拭されたわけでない中、また、豊かな自然に恵まれながらも、完全に除染のできない自然環境に不自由を持ちながら暮らす親やお子さんたちに寄り添っていくことは、福島の親子への支援ということだけでなく、東京、多摩地域に暮らす私たちが原発事故を我が事として考えていくためにも、継続していく必要があると考えています。合宿に参加したリピーターのお母さんたちとは、福島県内でも繋がりができているようで、また当団体のスタッフや様々な団体の方達とも SNS での繋がりも始まっています。こうした緩やかな繋がりを育んでいくことで、支援されるという関係性を超えて、子供たちの健やかな成長を共に支え合う継続的な繋がりにしていきたいと考えています。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり









# 第11回 ふくはち

## 2017.夏 親子交流合宿

報告書

**2017年7月31日(月)～8月3日(木) 場所:大地沢青少年センター****参加人数** 福島市、二本松市、郡山市、須賀川市、いわき市より48人(大人17人/子ども31人)、ボランティア60人

みなさん、ありがとうございます！ 第11回目の合宿「2017年なつやすみ☆ふくはち親子交流合宿」のご報告ができることを心からうれしく思っています。2011年の震災から6年。みんな6歳、年をとりましたね。2016年夏、第10回目の合宿を終えたあと、ひとまず次の春合宿はお休みして、今後のことを一度じっくり考えようとスタッフで相談しました。走り続けた5年間、しかし原発は再稼働が相次ぎ、福島の今後も見通せない、こうした合宿もいつまで続けられるのか、と胸の内を出し合いました。スタッフと言っても持ち出しのボランティアの寄せ集まり。何ができるのか、どこまでできるのかって悩むんですね。子どもが大きくなったり、仕事が変わったり、親が歳をとったり…。

そして結論は、無理はできない、けど、やっぱり続けたい!!!

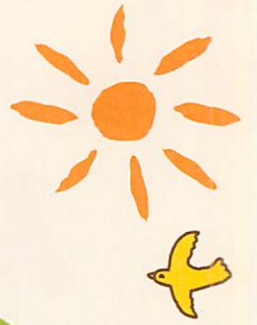
ふくはちは、こころざしとあたたかさが集まる楽しい場だと確信しています。経費が増え、今の力量では1年に1回が精一杯ですが、その1回をていねいに大事に続けていきたいと思います。初めてでも何回目でも、子どもも大人も、遊びに来てね！

次は2018年夏に合宿を行います。どうぞよろしくお願いします。

**ふくはちの親子交流合宿**は、ボランティアとカンパ、食事も自炊による、まさに手づくりの合宿です。放射能を気にせず安心して、子どもは自然の中で外遊び、大人はリラックスして過ごします。食事は、地元農家さんの協力により、新鮮な野菜たっぷりの体にやさしい献立を提供します。0歳からの保育サポートがありますから、赤ちゃん連れも歓迎です！



# 晴れた日も、雨の日も いっぱいあそんだね。



沢ガニいっぱい  
いるよ!

プレーパーク&  
沢遊び

もっともっと  
ゆらして〜♪



ターザンロープ



## ふくはち自慢の シェフ&ごはん

ふくはち自慢のキッチンチーム！  
栄養士さん、調理士さん、ボラン  
ティアさんたちが心をこめて作っ  
てくれた体によくて美味しいご飯。  
みんなたくさんたべましたね！



大ヒット!  
かき氷

おいし〜!



しじゅうし・ポテトサラダ・たまご汁



黒蜜とブルーベリージャムときなこが絶妙!



# スケジュール

7/31(月)

15:30 大地沢着  
オリエンテーション &  
ウェルカムティータイム

8/1(火)

9:00 プレーパーク&沢遊び  
15:00 スイカ割り

8/2(水)

9:00 ビニールプール  
13:00 特大折り紙  
15:00 かき氷  
19:00 夜空の観察

8/3(木)

9:00 帰り支度  
11:00 バス乗車

でっか〜い!  
かぶとのおうち  
みたい〜♪



特大折り紙挑戦(兜)



雨の日も  
盛りだくさん♪



星空を見よう!

大好評!

参加者のママさん  
ワークショップ



アクセサリーづくり



お抹茶シャカシャカ

ママたちの  
リラックスタイム

毎回恒例!  
アロマのハンドマッサージと整体タイム。  
ゆったり癒されながら、あれこれ話も弾みます。



雨が降ったらみんなでゲームや紙芝居。



感想文をいただきました♪

「ぼくにできること」  
六年 伊藤悠志



みなさんは保養という言葉を知っていますか。僕は、この夏休みに母と弟と町田市での保養に参加してきました。  
2001年3月11日大きな地震が東日本をおそいました。東日本大地震。あのおそろしさは、今でも記憶に残っています。その地震による地震動と津波によって福島第一原子力発電所で原子力事故が起こってしまいました。  
放射能がぼくたちが住む町にも降り注ぎました。そこで短期間でも放射能が低い所で過ごせるように、ぼくは、年に数回色々な保養に参加しています。  
保養先ではいつもボランティアのスタッフさんたちがぼくたち参加者をむかえてくれます。楽しい遊びをスタッフさんといっしょに遊びます。料理やお菓子もスタッフさんが作ってくれて、僕はたくさんスタッフさんのお世話になっています。  
中でも大学生のボランティアさんと、卓球をしたり、沢遊びをしたり、とても楽しく過ごせました。食事をしながら楽しく話したり、星座観察では、ボランティアさん達といっしょに観察をしました。楽しい長い時間を過ごしたので、別れる時はとても悲しかったです。  
毎回、保養先のボランティアさんとのふれあいを通して、その活動に興味を持つようになりました。  
スタッフのみなさんは、ふだんの生活をしながらも、福島の子供たちのために、立ち上がり、お金を集めてくれてます。なかなか出来ない事だし本当にありがたい事だと思えます。大学生のボランティアさんたちも貴重な休みを使って来てくれてます。そのおかげでぼくたちも楽しいし、ボランティアさんが間に入ってくれるおかげで、自然に他の友だちとも仲良くなれます。  
今は、受け入れられる側のぼくですが、いつかは受け入れる側になって、少しでもお手伝いできると思います。ぼくが元気をもらったように、その元気を返していきたいです。



## 参加者のこえ

### ママの声

- 子どもたちが帰りたくないと言った程、楽しく充実した時間になったようです。福島では川で遊んだり、外で思い切り遊ぶことにも制限があるので、何も考えず親も子どもも遊ぶことが出来て、貴重な時間になりました。
- 雨でも家で大学生のお兄さん、お姉さん達が全力で遊んでくれ、子ども達がとても喜んでいました。手と足をまっくろにして外で遊べたこと、子どもの笑顔が見れたこと、貴重な4日間でした。
- 6年経ち放射能に対する自分の意識もだんだん低くなってきました。祖父母に今でも気にしていますと伝えたくて保養を説明しますが、なかなか難しいです。保養に来ると意識が戻るのも、再確認の意味でも参加しています。
- 自然の中で何も考えずに遊ばせることができると嬉しかったです。どんな形でもいいので、長く続けてもらえると嬉しいです。二度と同じあやまちを繰り返さないためにも、保養を続けることで、風化させないで欲しい。
- 保養は本当に初めてで不安ばかりでしたが、ふくはちさんの合宿は本当に楽しくて、子ども達も安心してまかせることができて、ありがたかったです。参加して本当に良かったです。
- 安心して子ども達を預けられて、体によいおいしいご飯を頂いて、本当の保養ってこういうことなんだなあと実感しました。ふくはちカフェなどで、たくさんの方と交流ができて楽しかったです。
- ずっと子どもを見て頂いて、日々の疲れが取れました。いろいろな話をきいてくださり、福島生活をまた頑張れそうです。大満足です。また来たいです。
- 福島のことを気にかけて下さっている方々がいると感じられることは、心の支えになります。私たちの気持ちに寄り添っていただいて、感謝しています。この保養がいつまでも続くことを期待しています。
- 子ども達も大きくなって、いろいろな人々に助けられていることを感じて、ボランティアや人助けに関心や興味をもってくれたらいいなと思いました。
- 福島では普通に外遊びをさせたり、地元の野菜も食べているので、このような生活をしているものが保養に参加していいのかと、これまで一度も参加したことがなく初参加でしたが、他のおかあさんたちと交流したり、普段から子どもに制限していることなどをあらためて気づくことができました。

### 子どもの声

- 川で遊んだことが一番楽しかったです。また来たいです。
- とても楽しくて、友達もできて帰りたくないです。大学生のお兄さんお姉さんと遊んで楽しかったです。
- ブランコやターザンロープがとても楽しかったです。じゃぶじゃぶ池で水鉄砲したことが楽しかった。

## ご支援・ご協力、心より御礼申し上げます。

### お世話になった方々 (順不同 敬称略)

- 【施設】町田市立大池沢青少年センター アミダステーション (延立寺別院)
- 【ボランティア協力&呼びかけ】はちおうじ子ども食堂 創価アカペラバンド 栄養士・調理師の皆さん
- 【大人のためのケア】シナリーゆの有志 (アロママッサージ)
- 【プログラム】相原冒険遊びの会 全日本建設運輸連帯労働組合 (かき氷) 星つむぎの村 (星空観察)
- 【市内農家のみなさん】石川研 (高月町) / 中西真一 (小比企町) / 石川洋平
- 【お米提供】やまあいの村・武藤匠臣
- 【広報協力】ほよ〜ん相談会
- 【その他】カンパをいただいた方、ボランティアをしていただいた方、カンパジャムを食べてくれた方々



ボランティアの大学生のみなさん

### より一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



今年から施設が有料となり、往復のバス代、宿泊施設使用料、保険料、食材費などこれまで以上に経費がかかるようになりました。そのため、福島の親子さんにも参加費をご負担いただくようになりました。今後も息長く続けていくために、どうぞ一層のご支援・ご協力をお願いいたします。ご寄付(カンパ)いつでも大歓迎です。

#### 【カンパの振込先】

郵便振替口座▷名義/福島子ども支援・八王子  
記号番号/00120-9-450633  
◎他金融機関からお振込みの場合  
ゆうちょ銀行▷当座預金0450633 店番019

### 合宿のボランティア・スタッフを募集します!

ふくはち☆親子交流合宿には、学生さんから80代まで、さまざまなボランティアが参加しています。元教員、栄養士、カウンセラー、イラストレーター、子育て中のお母さん、市議員や介護ヘルパーなどなど、1人ひとりちょっとずつ、可能な範囲の力を寄せ合ってみんなで運営している合宿です。合宿中の食事づくり、子どもの保育や見守り、外遊び、大人向けのケアやリラク্সプログラムの提供、食材の提供、車の送迎など、お手伝いを募集しています! 企画ミーティングもやっています。お気軽にご連絡ください。

#### 福島子ども支援・八王子



検索してね♪

fuku8



住所 八王子市東町3-4 アミダステーション気付  
メール fuku8hachi@gmail.com 電話 080-3307-0427 (近藤)